

# 番町・麴町地域の教育環境を守るための要望書

千代田区都市計画審議会会長

岸井 隆幸 殿

番町・麴町地域には、100年を超す歴史をもつ教育機関(小学校、中学校、高等学校)が10ほどあり、それらの学校へ通う児童・生徒は8,000名にもなります。中高校生はその内6,000名ほどになり、そのほとんどは女子です。文教地区としての地域形成を明治の黎明期より牽引してきており、文教地区としての誇りを持っております。今般、文教地区として教育環境を守るために、千代田区都市計画マスタープラン改定「中間のまとめ」素案がまとめられる間際となりますが、その素案及び将来について以下の通り要望を致します。

- 1 番町の地区計画に記されている「中高層の街並みから突出した超高層建築物を制限するなど、建築物の用途や形態・意匠を制限し、良好な住環境を維持・保全する」姿勢を堅持することを要望します。

現番町地区計画の高さ制限が緩和されることに繋がれば、60m を超える高層ビル建築が可能となり、例えば、80mであっても日本テレビ旧本社跡地を含め高層ビルが建設されれば、就業人口は6,000名を超えるとも言われ、就業人口増大に伴う駅の乗降客増大は、生徒通学の安全に重大な危険を及ぼすこととなります。また、地域に浸食する形で飲食店やショップが増大することは不可避であり、夜遅くまで営業を行うなど繁華街化が進み、教育環境、住環境へ重大な悪影響及ぼします。女子学院前の日本テレビ新スタジオ棟は、60mの高さであり、十分に圧倒される高さです。

- 2 改定素案⑧エリア回遊軸日テレ通りについて、「建物の低層部を・・・店舗を確保していきます。」についての「建物」は「中高層の建物」と明記することを要望します。

千代田区都市計画マスタープラン「改定素案骨子(案)」(4章)1. 番町地域整備の改定素案⑧につきまして、現地区計画や素案でも記されている「中層・中高層の住宅系の複合市街地」と同様に、「中高層の建物」と明記することを要望します。この「建物」についてはどのようにも理解される恐れがあります。

- 3 番町麴町地域に通う8,000名の児童・生徒の登下校の「安全」を都市計画の中に盛り込み、良き教育環境を維持していくことを要望します。

麴町駅、半蔵門駅、市ヶ谷駅周辺では生徒に対して声かけ、痴漢という行為が度々起こっています。番町・麴町地域における高層化による就業人口増大と繁華街化は、そのような犯罪行為の増加を招くものとして危惧します。文教地区としての「安全」についても重要な要点として都市計画の中でも把握下さい。

4 将来、良好な住居系の番町麴町市域への「再開発等促進区」の適用をしないことを要望します。

日テレ通り沿いにおいて、日本テレビ本社跡地、および同社にて買収された土地に対して、「再開発等促進区」が適用され規制緩和が行われると、地区計画として中高層の高さ制限と教育環境、住環境の維持・保全することが骨抜きとされてしまうこととなります。今や企業は、利益至上主義ではなく、社会的責任(環境保全、人権保護、労働環境改善、地域への社会貢献等)を果たすべく企業活動することが求められています。公共放送の一翼をになう会社であればなおさらのことです。なお、就業者動線の安全、バリアフリー化等は多人数の就業者を抱える事業者、地権者の責務です。歩道拡張も現地区計画で記されており対応できます。

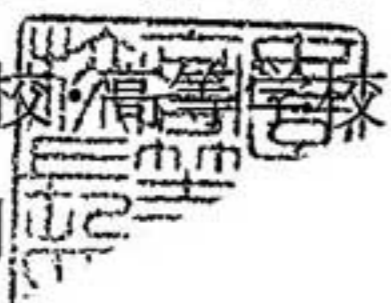
また、規制緩和により空地・広場が形成され、商業的イベントや単なる「にぎわい」が出現することを危惧します。そのような広場が即文化的な発信の場になるとは思えません。「区民、企業、教育機関、研究機関、NPO・ボランティア団体」などの多様な働きの交流と協働を可能とする場の形成に真摯に取り組む中で、コミュニティが豊かにされていくと思います。

2020年10月8日

東京都千代田区一番町 22-10

女子学院中学校・高等学校

校長 鷗崎 創



東京都千代田区三番町 12

大妻中学高等学校

校長 成島 由美



東京都千代田区六番町 14-1

雙葉中学校・高等学校

校長 日下部 和子



(連絡先 千代田区一番町 22-10 女子学院事務長 本田真也)

同文送付先

千代田区長 石川雅己様

千代田区区議会議長 小林たかや様

千代田区区議会景観・まちづくり特別委員会委員長 河合良朗様

千代田区都市計画審議会都市計画マスタープラン改定検討部会会長 池邊このみ様